

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を目指す皆様へ



『働きやすい環境のもと、 あなたらしく経験を積み、活躍してみませんか？』

岩手県立中央病院は、「県民に信頼される親切で温かい病院」を基本理念に掲げて取り組んでいます。岩手県立病院は20（センター病院：1、基幹病院：8、地域病院：10、精神科病院：1）ありますが、当院は高度急性期の専門医療を担うセンター病院として位置付けられています。その中で、診療支援部リハビリテーション技術科では、理学療法士（15名）・作業療法士（7名）・言語聴覚士（3名）が正規職員として職務に携わり、急性期医療、高度・専門医療のフィールドで活躍しています。当科は分野ごとのチームで患者さんを担当する「チーム担当制」を敷いているので、個々の患者さんの状態を複数のスタッフで検討しながら、多角的な視点での対応ができるようになってきました。また、スキルアップの場として岩手県立病院リハビリテーション療法士会のバックアップのもと、専門理学療法士や認定療法士といったスペシャリストの資格取得支援も行っています。このように、当院は1病院としてではなく岩手県立病院という大きな組織の中で、その役割を担っています。スタッフの平均年齢は33.5歳と若く、連帯感があり活気のある職場です。このような働きやすい環境で、あなたらしく理学療法士・作業療法士・言語聴覚士としての経験を積んでいきませんか？

部署と仕事紹介



『患者さんの日常生活を支援する専門分野として 多職種間での連携とチーム医療に関わっています』

その人らしい生活を実現して頂くために、理学療法・作業療法・言語聴覚療法の観点から診療業務をサポートするリハビリテーション技術科。より科学的に、また医学的根拠のある評価と治療法の提供を心掛けています。最近では、心肺運動負荷試験装置（CPX）や体成分分析装置（In Body）という機器を複数診療科と共同で導入し、より客観的な評価や治療効果を検証できるようになりました。入院患者さんを中心に、理学療法・作業療法・言語聴覚療法業務を行っています。現在は、「心大血管疾患・呼吸器リハビリテーション」、「脳血管疾患等リハビリテーション」、「運動器・廃用リハビリテーション」、「がん患者リハビリテーション」の4つのチームと集中治療病棟部門に分かれて業務を行っています。その一方で、呼吸ケアチーム、栄養サポートチーム、褥瘡対策チーム、認知症ケアチーム、排尿ケアチームといった院内におけるチーム医療活動の一員としてその一翼を担っています。

4つのチームと集中治療室体制を紹介します。

「心大血管疾患・呼吸器リハビリテーション」チーム



構成メンバーは、理学療法士5名です。

対象となる主な診療科は、循環器内科、心臓血管外科、呼吸器内科、呼吸器外科です。対象疾患は、①循環器疾患（心不全、急性心筋梗塞症など）、②心臓血管外科における手術前後（狭心症、弁膜症、大動脈解離や大動脈瘤といった大血管疾患、末梢動脈閉塞性疾患など）、③呼吸器疾患（肺炎、無気肺、肺腫瘍、胸部外傷、肺塞栓、慢性閉塞性肺疾患など）です。この他にも、食道癌、胃癌、肝臓癌、咽・喉頭癌等における手術前後の呼吸機能訓練を要する患者も、呼吸器リハビリテーションの対象となります。

「脳血管疾患等リハビリテーション」チーム



構成メンバーは、理学療法士2名、作業療法士3名、言語聴覚士3名です。

対象となる主な診療科は、脳神経外科、神経内科、皮膚科です。

対象疾患は、①脳血管疾患（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、脳外傷、脳炎、急性脳症、髄膜炎など）、②中枢性疾患（脳腫瘍、脊髄損傷、脊髄腫瘍、てんかん重積発作など）、③神経疾患（多発性神経炎、多発性硬化症、末梢神経障害など）、④慢性神経筋疾患（パーキンソン病、脊髄小脳変性症、運動ニューロン疾患、遺伝性運動感覚ニューロパチー、末梢神経障害、皮膚筋炎、多発性筋炎など）、⑤高次脳機能障害（失語症、失認及び失行症

など)、⑥脳性麻痺等に伴う先天性の発達障害、⑦難聴や人工内耳植込み手術等に伴う聴覚・言語機能の障害、⑧顎・口腔の先天異常に伴う構音障害、⑨皮膚疾患に伴う廃用症候群です。

「運動器・廃用リハビリテーション」チーム



構成メンバーは、理学療法士 4 名、作業療法士 1 名です。

対象となる主な診療科は、整形外科、腎臓・リウマチ科、総合診療科です。

対象疾患は、①体幹・上肢・下肢の外傷と骨折、上肢・下肢の複合損傷、②切断・離断、③脊椎損傷による四肢麻痺、④運動器の悪性腫瘍等、⑤関節の変性疾患、関節の炎症性疾患、⑥熱傷瘢痕による関節拘縮、⑦運動器不安定症等、⑧急性疾患等に伴う安静による廃用症候群（いわゆる生活不活発病：廃用性骨萎縮・筋萎縮、関節拘縮、床ずれ、起立性低血圧など）です。

「がん患者リハビリテーション」チーム



構成メンバーは、理学療法士 2 名、作業療法士 3 名です。

対象となる主な診療科は、消化器内科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、血液内科、がん化学療法科です。

対象疾患は、①食道がん、肺がん、縦隔腫瘍、胃がん、肝臓がん、胆嚢がん、膵臓がん、

大腸がんの手術予定または手術が行われた患者さん、②舌がん、口腔がん、咽頭がん、喉頭がん、その他頸部リンパ節廓清の必要ながんで放射線治療、手術予定または手術が行われた患者さん、③乳がんでリンパ節廓清を伴う乳房切除術予定または行われた患者さんで術後の肩関節運動障害を起こす可能性のある患者さん、④骨軟部腫瘍またはがんの骨転移に対し、患肢温存術もしくは切断術、創外固定もしくはピン固定等の固定術、化学療法または放射線治療予定または行われた患者さん、⑤原発性脳腫瘍または転移性脳腫瘍で手術もしくは放射線治療予定または行われた患者さん、⑥血液腫瘍により化学療法もしくは造血幹細胞移植予定または行われた患者さん、⑦骨髄抑制をきたしうる化学療法予定または行われた患者さん、⑧在宅での緩和ケア主体の治療を行っている進行がんまたは末期がん患者さんで、症状増悪のための一時的入院加療中に在宅復帰目的のリハビリテーションが必要な患者さん、⑨泌尿器、婦人科、乳腺外科疾患などのリンパ浮腫患者さん、⑩緩和ケアの患者さんです。

「集中治療室 (ICU・HCU)」



構成メンバーは、理学療法士 2 名です。

集中治療室では、全身管理が必要な患者が入室しているため、厳重なリスク管理のもと、医師・看護師と情報共有、連携を図りながら積極的かつ安全に離床を進めています。

対象となる主な診療科は、心臓血管外科、消化器外科、循環器内科、脳神経外科、総合診療科、腎臓リウマチ科、血液内科です。

対象患者さんは、手術後の患者さん（心大血管、脳、肺、食道手術、重症病態を合併した患者さん）であり、他に内科系の呼吸不全、循環不全、多臓器不全などです。

教育体制



「他の職種より歴史が浅い分野ですが
その分皆さんが主役となり、キャリアデザインを
描くことができる魅力があります」

当院においては、新卒の新採用者に関しては疾患ごとの知識・リスク管理・治療プログラムの理解を目的に、半年から1年単位でチーム間のローテーションを行い、その後一定のチームでの業務に当たってもらう体制をとっています。

また、対外的には取組みや研究の成果を発表する支援を行っており、平成28年度においては、第66回日本病院学会、第22回日本心臓リハビリテーション学会学術集会、第50回日本作業療法学会、第34回東北理学療法学術大会、第7回日本医療マネジメント学会岩手県支部学術集会、第35回岩手県糖尿病研究会等各種学会での発表をしております。

その他には、岩手県立病院リハビリテーション業務検討委員会及び岩手県立病院リハビリテーション療法士会では、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士として、中・長期的にステップアップすることができるカリキュラムを調え始めています。

岩手県医療局ホームページ『岩手県立病院リハビリテーション技術科のご紹介』へリンク

「学会・研修会」、「新採用者研修」、「医療局派遣研修」の項目参照

専門・認定分野への道



呼吸療法認定士



心リハ指導士



リンパ浮腫療法士/医療リンパドレナージセラピスト

「専門性を高めたい人必見！ スキルアップのための資格取得を応援します」

多職種間で共通の知識や判断が求められる急性期の高度専門医療現場で、医師や医療スタッフから提案・協働を求められる理学療法士・作業療法士・言語聴覚士。それに応えるべく更なる専門分野の道に進み、プラスアルファの資格を取得して活躍する療法士も少なくありません。岩手県立中央病院及び岩手県立病院リハビリテーション療法士会は、専門・認定資格への理解とサポートに力を入れております。当院には現在、日本理学療法士協会専門理学療法士（基礎理学療法）、日本理学療法士協会認定理学療法士（呼吸）、日本理学療法士協会認定理学療法士（循環）、日本理学療法士協会認定理学療法士（脳卒中）、リンパ浮腫療法士が各1名、医療リンパドレナージセラピスト、日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士、いわて糖尿病療養指導士が各2名、3学会合同呼吸療法認定士が4名在籍しています。今後も、認定等の資格取得者が毎年増えるよう取り組んでいきます。

基本理念・基本方針

「根幹は、“県下にあまねく良質な医療の均てんを”
という創業の精神に基づいています」

岩手県立病院リハビリテーション技術科は、岩手県医療局並びに所属するそれぞれ 20 の県立病院の基本理念及び行動指針を基に一体的・効率的な運営のため、共通の基本理念及び方針を定め、心を一つにして取り組んでいます。

岩手県医療局ホームページ『岩手県立病院リハビリテーション技術科のご紹介』の「基本理念」「基本方針」の項目をご参照願います。

岩手県医療局ホームページ『岩手県立病院リハビリテーション技術科のご紹介』へリンク
「基本理念」「基本方針」の項目参照

待遇等

岩手県給与条例により支給となります。詳細は、岩手県医療局ホームページ『岩手県立病院リハビリテーション技術科のご紹介』の「待遇等」の項目をご参照ください。

岩手県医療局ホームページ『岩手県立病院リハビリテーション技術科のご紹介』へリンク
「待遇等」の項目参照

厚生福利制度

岩手県医療局ホームページ『岩手県立病院リハビリテーション技術科のご紹介』の「厚生福利制度」の項目をご参照ください。

岩手県医療局ホームページ『岩手県立病院リハビリテーション技術科のご紹介』へリンク
「厚生福利制度」の項目参照

その他 職員採用までの流れ、配置状況

岩手県立病院は、センター病院：1、基幹病院：8、地域病院：10、精神科病院：1 に分類されますが全 20 病院がそれぞれの機能の中で県民の医療を支えています。定期的な人事異動をメリットと捉えるとスキルアップ、キャリアアップができる環境が数多く存在します。

岩手県医療局ホームページ『岩手県立病院リハビリテーション技術科のご紹介』の「採用フロー、リハビリテーションスタッフ配置状況」の項目をご参照ください。

岩手県医療局ホームページ『岩手県立病院リハビリテーション技術科のご紹介』へリンク

「採用フロー、リハビリテーションスタッフ配置状況」の項目参照

本年度の採用情報は、岩手県医療局ホームページで公開にてそちらへリンク